

都市みらい創造戦略機構をよろしく申し上げます

2021年度にスタートした都市みらい創造戦略機構は、地域連携とキャリア支援を兼ね備えた組織として地域の課題解決や人材育成の拠点として業務を開始しました。

2021年度も前年に続き、コロナ禍による活動が制限される中、多くの事業に取り組みました。その一つに、休館中の資料室の一部(鯨に関する資料約100点)を学外の施設(長府庭園二の蔵)に移転し、鯨資料展示室として10月に一般公開したことです。公開後しばらくは好天が続く多くの来場者で賑わいを見せました。続いて、下関市が実施する事業への参画です。スマートシティ推進協議会が主宰する介護デジタルハッカソンやデジタル人材育成モデル実証事業、そのほか選挙啓発サポーター支援事業、関門海峡日本遺産協議会、とよたび等に参画・協力しました。また、PBLや産官学連携、フグシンポジウム等、広範囲にわたって活動しました。

下関市立大学は、地域の課題を把握し、解決のヒントを提供すること、地域が求めるタイムリーな情報を提供することも大学の使命であると考えています。お気軽にご相談いただければ幸いです。

都市みらい創造戦略機構長補佐(地域連携課長) 小山 英

地域調査研究活動

1. 地域課題(産官学)研究

研究成果は成果報告会で公開するとともに、定期刊行物に論文として掲載、また山口県大学共同リポジトリ『維新』にてWeb公開します。

2. 関門地域共同研究

北九州市立大学との共同研究です。行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にする、というユニークな共同研究です。両市と双方の市立大学の思惑が一致してこの研究会の結成となりました。必要に応じて地元や近隣から委嘱研究員を招聘しています。毎年度、その成果を年刊『関門地域研究』として公刊するとともに、成果報告会を開催しています。

3. 受託調査研究

地域課題について調査研究の依頼があれば、プロジェクト化の可能性を図り、受託できるよう対応いたします。

地域連携活動

下関の市民・産業界・行政・他近隣の高等教育機関と連携し、地域が求める人材ニーズを的確に把握し、地域で活躍できる人材の育成のための支援を行います。また、地域の課題を把握し、解決のヒントや地域が求めるタイムリーな情報を提供することに努めます。



地域教育活動

2022年度開講予定の講座等です。企画が出来次第、ご案内します。

市民大学

- 公開講座
- 開放授業

●出前講座

PBL(課題解決型学習)

スケジュールの詳細は決定次第ホームページでお知らせします。

資料室関連

本学が所有する鯨資料等について、より広く市民の方に見ていただくため、また、下関市の歴史や文化が感じられる機会を創出するため、2021年10月1日より長府庭園二の蔵(下関市長府黒門東町8-11)にて鯨資料展示室を開室し、一般公開を始めました。フグ資料の一部は本学本館正面玄関に展示しています。また、鯨、フグに関する様々な情報を発信し、地域に貢献していきます。



下関市立大学都市みらい創造戦略機構



2022 Vol.1

下関市立大学都市みらい創造戦略機構は、地域の産業活動及び地域社会の向上に寄与するため、地域の課題について産業界や行政等の学外機関と情報を共有し、学術的観点からその課題解決にあたります。

ごあいさつ

昨年、2021年4月に新たに誕生した下関市立大学都市みらい創造戦略機構(SIFUC)は地域の皆様方、産業界の皆様、下関市等の行政機関、大学関係者の皆様のご指導、ご支援を賜りながら、この春、1年を迎えることができました。ここにあらためまして御礼申し上げます。

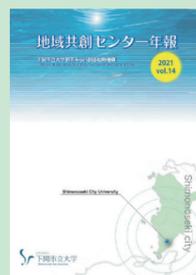
2021年度は新型コロナの感染拡大にともないSIFUCは、様々な局面において活動の制限を受け、十分な活動はできなかった面もありましたが、地域の皆様、産業界の皆様、行政や近隣高等教育機関との連携を図り、地域と大学の情報を双方向で活用し、大学を含む地域全体の価値を高めていくという目標にむけて歩みを進めることができました。

今年度(2022年度)は、これまで手掛けてきた地域とのかかわりを強化し、より一層の情報の集積を図るとともに地域情報を生かし、本学での地域に関する教育の充実や地域で活動できる人材育成を行うほか、地域の抱える身近な課題をテーマとした研究活動を通じて公立大学として地域への貢献を深めてまいりたいと思います。また、SIFUCに属するキャリアセンターにおいては、本来の就職支援に加え、本学学生と地域企業の橋渡し役としての機能も高めてまいりたいと思います。

SIFUCは、地域の皆様、産業界の皆様、行政機関、そして本学の学生や教員の皆様の地域連携に関する身近な相談窓口であり、情報提供の場でもあります。どうぞお気軽にご活用いただけますようお願い申し上げますとともに、皆様方の引き続きましてのご指導、ご支援をお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

下関市立大学都市みらい創造戦略機構
機構長 砂原 雅夫

出版物のご案内



地域共創センター年報
Vol.14



関門地域研究
Vol.29



地域共創センターニュースレター
Vol.13



資料室だより
Vol.10



都市みらい創造戦略機構地域連携ニュースレター Vol.1

発行/2022年3月31日 発行/下関市立大学都市みらい創造戦略機構(地域連携課)
〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1

MAIL chikiirenkei@shimonoseki-cu.ac.jp TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp URL



Shimonoseki City University, Institute for Future Urban strategy(SIFUC)

年間活動報告 地域教育活動

●市民大学公開講座

※2021年度の公開講座は全てオンラインで開催しました。

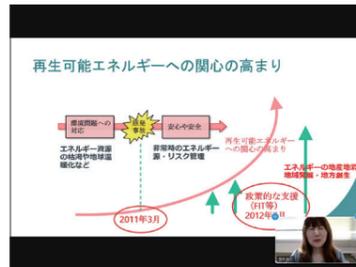
《カントのドイツ語表現》

(全1回 木曜日)
日 時：2021年 6月24日 18:30～20:00
講 師：桐原 隆弘 経済学部教授



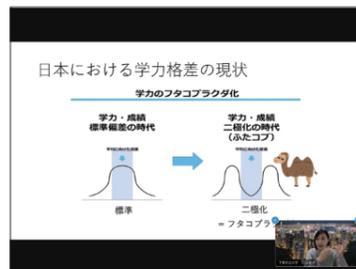
《再生可能エネルギーの社会学》

(全1回 木曜日)
日 時：2021年 7月 8日 18:30～20:00
講 師：福本 純子
福岡県立大学人間社会学部講師



《グローバル化時代の移民の子どもと教育》

(全1回 火曜日)
日 時：2021年10月26日 18:30～20:00
講 師：石川 朝子
都市みらい創造戦略機構特任教員



《GDP(国内総生産)を考える》

(全1回 火曜日)
日 時：2021年11月 9日 18:30～20:00
講 師：磯谷 明德 経済学部特命教授



●開放授業

今年度の開放授業は実施しませんでした。

●下関市生涯学習まちづくり出前講座

《経営戦略論入門》

日 時：2021年10月 6日(水)
15:30～16:50
場 所：勝山公民館
講 師：村田 和博 経済学部教授



《非営利経営の特徴と留意点》

日 時：2021年12月 8日(水)
14:30～16:00
場 所：勝山公民館
講 師：川野 祐二 経済学部教授



年間活動報告 地域調査研究活動

●2021年度 産官学研究报告会(オンライン)

日 時：2021年 6月 8日(火) 18:30～19:30
報 告：「福祉人材確保に関する研究
—下関市を中心に—」
報 告 者：難波 利光 経済学部教授
共同研究者：田中裕美子 経済学部教授



●関門地域共同研究会 成果報告会

2021年度は開催しませんでした。



年間活動報告 資料室関連

●親子体験イベント

下関くじらサマースクール～くじらについて学ぼう～

日 時：2021年 7月25日(日) ①10:30～11:30
②13:30～14:30
場 所：下関市立大学 本館2階 I-206教室 ほか
参加者：市内在住の小学生及び保護者
内 容：講演「くじらについて学ぼう」
下関くじら文化振興室長 岸本 充弘
(下関市立大学都市みらい創造戦略機構委嘱研究員)
鯨資料等見学
共 催：下関市、株式会社ケーブルネット下関
後 援：下関市教育委員会



●鯨資料展示室開室

日 時：2021年10月 1日(金) 展示開始
場 所：長府庭園二の蔵
(下関市長府黒門東町8-11)
展示物：中部家ゆかりの鯨資料等 約100点
(学内の資料室は2021年6月9日(水)に閉室しました)



●フグシンポジウム

「下関ふくブランドの復権に向けて」

日 時：2022年2月9日(水) 13:30～16:30
場 所：Zoomによるオンライン開催
内 容：
第1部 個別講演・報告
(1)「下関ふく復権に向けて
～真正正銘の下関産フグで活性化を～」
佐々木満 元みなと新聞中国支社 参与
(2)「真正正銘の下関産トラフグの創出に向けて」
望月俊孝 株式会社河久 代表取締役
(3)「高成長トラフグゲノム解析の成果」
渡部終五 東京大学名誉教授・
現北里大学海洋生命科学部 特任教授
(4)「陸上養殖システムの現状と方向性」
山本義久 国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校水産流通経営学科 教授
(5)「下関産とらふぐ専用飼料の取り組み」
長岡綾 林業産業株式会社飼料事業部
(6)「下関フグブランドの未来」
濱田英嗣 摂南大学農学部 教授
(7)「下関産養殖トラフグの意義と課題
および経済効果の試算」
佐藤隆 下関市立大学経済学部 准教授
第2部 パネルディスカッション
テーマ：下関フグブランドの復権へ向けての戦略的課題



総司会・コーディネーター：佐藤隆

年間活動報告 地域連携活動

●介護デジタルハッカソンin下関

日 時：2021年10月16日(土) (キックオフミーティング)
～2022年1月22日(土) (最終審査会)
場 所：梅光学院大学 ほか
参加者：下関に在住・在学・在勤の、大学生・大学院生・
若手社員
内 容：福祉・介護の課題をデジタル・デザインの手で
解決
主 催：下関市スマートシティ推進協議会
共 催：NPO法人 STEM Leaders、下関市
後 援：アクセント株式会社、
下関市立大学、梅光学院大学 他



●デジタル人材育成モデル実証事業

【下関市からの受託事業】
日 時：2021年12月9日(木)～2022年3月31日(木)
場 所：オンライン、やまぐちDX推進拠点 Y-BASE
参加者：本学学生
内 容：デジタル社会に生きるMDA
短期集中プログラムオンライン学習、
DX推進拠点施設見学等



●下関市選挙啓発サポーター支援事業

期 間：2021年8月20日(金)～1年間(継続中)
参加者：本学学生他市内大学の学生有志
内 容：若者の投票率向上に向けた企画立案等
主 催：下関市選挙管理委員会
※大学内にて移動期日前投票実施:2022年1月24日(月)下関市立大学内
2022年1月25日(火)梅光学院大学内



年間活動報告 産官学連携活動

●スマートシティ推進協議会

- 下関市がスマートシティへの取組をより加速することを目的に設立した
「下関市スマートシティ推進協議会」に参加しています -
期 間：2021年5月19日(水)～
内 容：市民中心のスマートシティの実現に向けて、施策の選定やアドバイス、および実施することを
役割としています。
参加者：下関市、公立大学法人下関市立大学、学校法人梅光学院、特定医療法人茜会、山口第一株式会社等

●KARASTA.協議会

- 下関市より「創業支援型地域活性化事業」として委託を受け、株式会社リージョナルマネジメントが
運営している創業支援カフェ「KARASTA.」(カラスト)の協議会に参加しています -
第1回「KARASTA.協議会」
日 時：2021年8月27日(金) 14:00～
場 所：創業支援カフェKARASTA. (カラスト)
第2回「KARASTA.協議会」
日 時：2021年10月15日(金) 14:00～
場 所：創業支援カフェKARASTA. (カラスト)
第3回「KARASTA.協議会」
日 時：2022年1月28日(金) 14:00～
場 所：創業支援カフェKARASTA. (カラスト)
参加者：下関市、山口銀行、西京銀行、西中国信用金庫、
日本政策金融公庫、下関市立大学、下関商工会議所、
山口県信用保証協会、協同組合唐戸商店会、
株式会社リージョナルマネジメント 他



●近隣大学との連携

- 近隣の理系大学との連携を推進しています -
山陽小野田市立山口東京理科大学、西日本工業大学と連携に向けての話し合いを行いました。

